



東京多摩スマイルワイズメンズクラブ

chartered on 2016.7.17 (2023.7.1 東京多摩みなみクラブと東京町田スマイルリングクラブ合併)

2025年
2月号
(第20号)

今月のことば

「私が求めるもの、Challenge (挑戦)、Confidence (自信)、Critical thinking(批判的思考力)」 (為我井 輝忠)

(当クラブは多摩市社会福祉協議会、町田市社会福祉協議会ボランティアセンターの登録団体です)

2024~2025 年度 主題

クラブ会長 伊藤幾夫「みんなが集えるクラブを！」
 東新部部长 今井武彦(東京むかで)「ALL 東新部、試練を越えて進もう！」
 東日本区理事 山田公平(宇都宮)「ワイズの方向性を見極める」
 アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウオン (香港) 「大きなインパクトを起こそう」
 国際会長 A.シャナヴァスカーン (インド) 「より良い世界のために、共に」
 《クラブ役員》会長 伊藤幾夫 副会長 為我井輝忠 直前会長 深尾香子、為我井輝忠
 書記 田中博之 副書記 尾張日出夫 会計 綿引康司 担当主事 小野 実

今月の強調テーマ:「TOF(Time of Fast:断食の時)」「FF(Family Fast)」「HTW (Heal the World : 4 ページに解説)」

2月例会プログラム

- 日時: 2月4日(火) 19:00~20:30
 会場: ベルブ永山 3階講座室
 (小田急線多摩線永山駅徒歩4分)
 会費: なし (夕食はありません)
 *オンライン (Zoom) でも参加できます
 受付: 石田孝次 司会: 田中博之
- *開会あいさつ 伊藤幾夫会長
 - *ワイズソング
 - *今月のことば 為我井輝忠
 - *ゲスト/ビジター紹介 会長
 - *会長挨拶
 - *次期クラブ役員承認
 - *今月のスピーチ
 「BF代表として、3週間のネパール訪問」
 為我井輝忠さん (当クラブ会員)
 - *チーム報告 (プランター野菜講座、農園、社協など)
 - *YMCA ニュース、各種アピール等
 - *オークション
 - *今月のハッピーバースデー
 - *YMCA の歌
 - *閉会ひとこと 会長
- (お願い) 今月はオークションを行います。品物をご持参ください。

巻頭言 「TOF 強調月間に寄せて」

国際協会 TOF 委員会委員長
田中 博之



毎年2月はTOF (Time of Fast:断食の時)の強調月間です。毎年、各クラブから例会での食事代1回分以上の献金を募り、全世界のクラブ、YMCA から応募があった、主として社会的弱者を支援するプロジェクトを財政的に援助するプログラムです。1972年の開始以来、10億円以上の献金を集めています。今年度は、8つのプロジェクトを選定し、総額約1,800万円の助成を行うことを決定しました。例えば、ジンバブエにおけるユース教育支援、インドにおける女性の縫製技術トレーニングセンター設置などですが、特筆すべきは、私が知る限り、初めて日本からプロジェクトを申請し、選定されたことです。東日本区としての「不登校児対応プロジェクト」で、約260万円の助成金が決定されました。多くのクラブが参画し、成果が挙がること、ワイズ/YMCA 外に対しての良いPRとなることを願っています。詳しくは、2024年11月27日発行の理事通信特別号をご覧ください。なお、TOF 献金は、自然災害等の緊急支援にも用いられていて、昨年度は、ハワイの山火事被害等へ約240万円の支援を行いました。2月は、TOF をはじめとする各種献金の締め切りの月です。私たちの献金が何に、どう使われているかをご理解いただいた上で、ご協力いただければ幸いです。

2月の Happy Birthday
井上富子さん(15日)、伊藤幾夫さん(17日)

1月例会	在籍15名 (内広義会員4名) 在京ワイズ合同新年会 (1月例会として扱う)	出席 内訳	メンバー	7名	BF切手	0g	オークション	0円
			メーキャップ	3名	(今年度累計)	0g	(今年度累計)	0円
			出席率	91%	ぼんぼこファンド	0円	スマイル	0円
			メネット	0名	(今年度累計)	18,600円	(今年度累計)	55,335円
			ゲスト・ビジター	名				

1月例会（在京ワイズ合同新年会報告）

1月11日（土）、恒例の在京ワイズ合同新年会がリアルで開催され、当クラブは、これを1月例会扱いとしました。会場は、東陽町コミュニティーセンターで、ホストは東京西クラブ。参加者は在京12クラブ全クラブからの出席約70名およびゲスト・ビジター約20名、合計90名を超えていました。当クラブからは7名の参加がありました（=下写真）。



13:30に第1部の新年礼拝が開催されました。ワイズソング、讃美歌、東京武蔵野多摩クラブ山口さんの聖書朗読・祈祷のあと、能登半島被災地支援のために献金を捧げました。東京西クラブ本川副会長の歓迎のことば、菅谷東京YMCA総主事、横山日本YMCA同盟執行理事の祝辞と続きました。（礼拝献金66,201円は、第3部で東京YMCAに手渡されました）。

第2部はアトラクションとして、嘶家橋ノ百圓さんによる「落語一席」を楽しみました。

記念写真撮影の後、会場を「カフェテリア」に移動して、第3部の懇親会が、山田東日本区理事の「乾



杯」発声で開始されました。ケータリングで整えられた料理をお皿いっぱい載せて、お互いが新年の交歓をしました。人数が多くて、カフェテリアは動けないほど賑わい、楽しいひとときを持つことができました。参加各クラブの紹介、アピールタイムの後、YMCAの歌、閉会点鐘で、定刻の16時半にお開きとなりました。

東京西クラブの皆さん、お疲れ様でした。また、東京武蔵野多摩クラブ、東京たんぼぼクラブのみなさんのご協力もみごとでした。（伊藤幾記）

《当クラブからの出席者》石田、伊藤（幾）、伊藤（江）、為我井、深尾、峰、綿引（7名）

メーキャップ：小野、尾張、田中

1月第2例会（運営会議）報告

1月10日（月）19:00から、第2例会（運営会議）がZoomにて開催され、会計報告、2月例会プログラム、ブリテン割り付けの他に以下のことが報告、話し合われました。

- ・ぼんぼこ農園の野菜収穫1/15(水)（別掲）
- ・インドBF代表のアテンドについて（別掲）
- ・新入会員候補者へは引き続き参加を呼びかける。
- ・後期半年報を提出（当クラブは15名となった）
- ・ワイズナイトフォーラムの第2回（2/16）に当クラブのプランター野菜講座を発表する。（別掲）
- ・例会スピーカーは3月：山口和彦さん（東京町田コスモス、脳科学について）、4月：高橋まどかさん（終活について）
- ・次年度クラブ役員について（別掲）
- ・東日本区各種献金について、2月例会で自主献金を呼びかける。（別掲）
- ・CS活動「W4W」について、2月に決めたい。
- ・次期会長研修会（3/8～9）に補助費1万円を計上
- ・BF切手について（別掲）
- ・YYクッキング（1/28(火)）について（別掲）
- ・2月第2例会：部長公式訪問。今井部長他出席《出席者》石田、伊藤（幾）、小野、尾張、為我井、深尾、綿引 合計7名（伊藤幾記）

在京ワイズ会長会報告

1月11日(土)10:00～11:30、東京YMCA社会体育・保育専門学校2階演習室で開催されました。在京ワイズ12クラブ会長と東京YMCAおよび在日本韓国YMCAスタッフ、合計27名が集い、それぞれの報告、PRを行いました。次回の在京会長会は5/24(土)東京YMCA会員大会の日(午前中)に開催。来年の在京ワイズ合同新年会のホストはチャーター順で東京武蔵野多摩クラブとなります。（伊藤幾記）

自主献金のお願い

例年2月にはクラブの皆様へ自主献金をお願いしています。今年度の献金科目も、昨年と同様、CS(国際・地域社会奉仕)、ASF(YMCAの研修・活動支援)、FF(エイズ等啓発)、BF(代表派遣・国際役員旅費)、TOF(発展途上国向け支援)、RBM(マラリア撲滅)、YES(クラブ設立支援)、ユース活動支援の8科目です。東日本区設定の達成目標はCSとユース活動支援が増額され、他の3科目が減額されました。皆様におかれましては、科目をご指定の上、献金をお願いいたします。

振込は、会費同様、下記のクラブ口座宛にお願いいたします。

『多摩信用金庫 桜ヶ丘支店 普通 0251660
東京多摩みなみワイズメンズクラブ』

(綿引記)

2月例会 スピーチ

BF 代表として 3週間のネパール訪問

為我井 輝忠 さん
(東京多摩スマイルクラブ)



《スピーチ概要》

2023年5月にBF (Building Fellowship) 派遣の案内を見て興味を覚え、応募してみたいと考えましたが、ただコロナ禍がまだ完全に終息していなかったため、断念し、昨年によく応募してみました。この年は、カナダ、ブラジル、ペルー、ネパールの4カ国が受け入れるということで、一番興味があったネパールを選択しました。幸いにして希望が叶い、実現することが出来ました。2025年11月20日から12月10日までカトマンズ、ポカラ、ルンビニの3カ所を訪ねてきました。ネパールにはルンビニYサービスクラブがあり、その責任者の Deepak Bhandari 氏が受け入れてくれました。

ルンビニではワイズメンズクラブの歓迎式典があり、多くの方々とお会いしましたが、何よりも、彼が支援している小学校での体験が忘れられないです。小さな学校でしたが、ここで折り紙講習を行いました。生徒たちは「折り紙」に興味を持ってきて、先生たちも一緒に参加してくれました。3週間という短い期間、しかも限られた地域での訪問でしたので、ネパールに関する理解は十分得られたとは言えませんが、体験を通して、この国に興味を深まりました。詳しい報告は、2月例会でしたいと思います。



使用済み切手と書き損じハガキの回収のお願い

皆様のお宅には、手紙、ハガキに貼られた使用済みの切手がありませんか。使用済み切手と共に、未使用や書き損じハガキもありましたら、2月例会にご持参ください。少量でも構いませんので、ご協力ください。これらの資金は、ワイズの海外派遣 (BF 派遣) やリーダー養成のために使われます。ご注意ください。これらのお金は、切手の場合、周囲は3~5mm程度の余白を残して切り取ってください。汚れたものや破損したものは除いてください。外国切手と日本切手は別々にしてください。皆様のご協力をお願いします。(為我井記)

2025-2026 年度クラブ役員候補

次期クラブ役員について、1月第2例会で話し合いがもたれ、会長候補に綿引康司さん、書記候補に伊藤幾夫さん、会計候補に伊藤江理夫さんが選出されました。2月例会で承認を受けます。

会長候補	書記候補	会計候補	担当主事
綿引康司	伊藤幾夫	伊藤江理夫	小野 実

ワイズナイトフォーラムⅡのご案内

東日本区では、各クラブで新しいCS活動を開発するときに、参考となる「現在稼働中の奉仕活動」の紹介イベント「ワイズナイトフォーラムⅡ」をオンラインで開催しています。第1回は1月26日に終了しましたが、第2回は2月16日(日)、第3回は3月16日(日)に予定されています。開催時間は20:00~

21:30です。特に、第2回では当クラブの「プランター野菜講座」の紹介をします。

下記 Zoom URL から、是非ご参加ください。

Zoom URL

<https://us06web.zoom.us/j/82834160715?pwd=smRebPBO3tlCfcfdNoaA9bhWYAHgKh.1>

ミーティング ID: 828 3416 0715

パスワード: 416706

(綿引記)

東新部 EMC セミナー

「Y と Y's が手を繋ぐ！」をテーマに下記のとおり EMC セミナーを開催します。先月、ワイズ後期半年報が発表されました。東新部では前年同期 73 名でしたが、2つのクラブ解散もあり、53 名となりました。東日本区の会員数は、前年同期 722 名のところ、今回 663 名となりました。東新部内に限らず、多くのクラブがメンバーの高齢化、会員数の減少などにより、クラブ活動の停滞が深刻な問題となっている現状がうかがえます。今期 2 期目の今井部長の主題「ALL 東新部、試練を越えて進もう！」のもと、部の枠を越えて、在京 12 クラブに呼びかけて、開催することになりました。オンラインでも参加できます。

*日時: 3月1日(土) 13:30~16:00

*場所: 東京 YMCA 東陽町センター

*参加費: 無料

発題は、在京 12 クラブが所属する東新部、あずさ部、関東東部から、それぞれ行っていただきます。

(伊藤幾記)

インド BF 代表を東新部に迎えて

1月26日(日)来日されたインドの南西地域ケララ州BF代表のK.Venkatesh & J. Hariharan ご夫妻を千葉ウエストクラブから引き継いで27、28日の2日間、東新部の皆さんでアテンドしました。



初日は夫妻を東京YMCA東陽町コミュニティセンターで引き継ぎ、同所と西早稲田にあるYMCA本部を訪ねました。東陽町ではスタッフの池田麻梨子さんの案内で施設を見学したり、お話を聞いたりして、日本のYMCAの働きを知っていただきました。次の西早稲田へ向かう前に、地下鉄大手町駅で下車し、皇居前まで行きました(あいにく月曜日は皇居休館で入場できませんでした)。付近の高層ビルと皇居の日本的な静けさに、いたく感銘を受けたようでした。YMCA本部では副総主事の星野さん(=写真中央)と面会し、インドのYMCAのことやワイズメンズクラブの活動等についてお話を伺いました。夕方、ご夫妻の歓迎会を、山手センター近くの「伊丹亭」で開催しました。ご夫妻はヒンズー教徒で牛肉や豚肉は食べられないことは事前に知らされていましたが、夫人の方はヴェジタリアンで、厳しい食事の制限があり、この場ではサラダだけしか食べられませんでした。会食後、宿泊の「府中ケヤキホテル」までお送りしました。



28日は、京王線聖蹟桜が丘駅にある多摩女性センターで、「ワイワイクッキング」に参加していただき、インドのサンパールというスープと野菜カレーをご夫妻から教えていただきました。日本側からは筑前煮を紹介しました。調理後、参加者一同で食事をしながら歓談の時を持ち、しばし両国の文化交流を持ちました。普段このような機会が少ないので、大いに有意義でした。翌日は川越に移動し、次のアテンドをお願いしました。

《当クラブからの参加者》

1/27(月): 石田、伊藤幾、深尾、綿引、為我井

1/28(火): 石田、深尾、為我井

1/29(水): 綿引 (川越までのアテンド)

(為我井記)

インド BF 代表との YY クッキング

1月28日(火)朝9:45 ホテルにお迎えして、元気に「Good Morning!」。10時過ぎに京王線聖蹟桜が丘駅で皆と合流し、スーパーで楽しく食材を選んでいただきましたが、Venkiさん(夫Venkateshさんのニックネーム)は”セルフレジ”に興味津々。

「助けが無ければ、支払いが出来ませんでした」とのこと。「我々にとっても、セルフレジはコロナ後ですから、まだ慣れてません」と説明。その後、会場の多摩市女性センター調理室にて、それぞれの料理の説明を聞き、助け合い、穏やかに時は流れて行きました。Jayaさん(妻Jahanti)からはSambhar他2品。日本からは、江口シェフ(東京クラブ)渾身の、完全野菜版「筑前煮(出汁は昆布のみ、肉は厚揚げを代用)」にておもてなし。皆、口々に美味しいを連発し、お持ち帰りはほとんど出ませんでした。食事の後は、Venkiさんが



南インド区の直前理事であることから、100以上のクラブがあり、1500人を超えるワイズメンがいること。区を挙げて「癌」に苦しむ人々を支援していること、当地にはファミリー例会があることを伺いました。インドは、元々家族を大切にするお国柄です。それがワイズの考えと一致したことによって、キリスト教の信仰という枠にとらわれることなく、今日の成



長があるということが分かりました。日本からは、渡邊さん(東京)によるアメイジンググレイスの独唱を聴いた後、皆が即興の合唱団となって歌のプレゼント。恒例の記念撮影をして、最後に会計(見込み)の報告。この企画が、余剰金をユース支援のファンドにしているとお伝えしたところ大変感動して、ご寄付のお申し出を頂きましたが、今日はお断りしました。散会後は、同じ方向へ帰るメンバーがホテルまで同道。片言だったり、スマホの翻訳機を利用して、四苦八苦の対話でしたが、温かい気持ちは伝わり、何度も大きく手を振りながら「See you!」と繰り返しました。(深尾記)

ぽんぽこ農園便り

1月は、ワイズ関連の会合やイベントの他、仕事のスケジュールも重なり、ゆっくりぽんぽこ農園の野菜たちの生育状況の確認、雑草取り、植え替えのための準備作業など、責任を果たし切れない毎日が続きました。佐々木さんに「おんぶにだっこ」状態が続いています。しかしながら野菜たちは、逞しく元気に育っています。今栽培中のニンニク、玉ねぎは、色つやも良く、茎の部分にしっかりとした勢いを感じます。根菜類は、収穫まで時間を要するので、根腐れや病気にかからぬよう見守る必要があります。2月は、少しでも時間を見つけ、お世話を注力したいと思っています。さて、そんな中、15日(水)午前10時から、大根の収穫作業を実施しました。佐々木さんをはじめ、町田市に住む東京八王子クラブの小口さん、稲葉さんが駆けつけてくれました。真直ぐ



大きく育った大根20本弱を収穫しました。青々と茂った葉っぱ、はち切れんばかりに真っ白に育った大根の瑞々しさは、ハイクオリティーを実感できるほどの良質な大

根でした。その場で、市場価格を参考に買い上げていただきました。売上金3,000円は、クラブの口座に入金しました。残った大根は、農園からの帰り道に井上さん、峰岸さんにお届けしました。大変喜んでくれました。(石田記)

今月の強調テーマ「HTW」について

【ヒールザワールド】「世界を癒そう」(Heal the World. 略号:HTW)。国際協会が2020/21年度に開始した「統一国際プロジェクト」で、世界を癒すために、強固な国際的な関与と組織的な連携、連帯を構築して、私たちのボランティアの力を、より発揮することを目的としています。主な活動内容は、災害時等の救援物資の提供/ボランティア支援、医療/健康プログラム、専門家のネットワーク構築など。プロジェクトの資金は、主としてTOF 献金が用いられます。(伊藤幾記)

今後の予定

- 2/10(月)19:00~20:30 2月第2例会 Zoom 「部長公式訪問」
- 2/15(土) 後期区費、各種献金納期
- 2/16(日) 第2回ワイズナイトフォーラム (別掲)
- 3/1(土) 東新部 EMC セミナー (別掲)
- 3/4(火) 19:00~20:30 3月例会 玉川学園コミセン

YMCA ニュース

担当主事 小野 実

YMCA 運動へのご理解、ご協力に感謝いたします。

1. 全国の YMCA に寄せられた能登半島豪雨緊急支援募金を用いて、11 月末までに全国 YMCA からボランティア、スタッフ計 250 名が輪島市町野町での水害ボランティアに参加しました。また 12 月には富山 YMCA や全国複数のワイズメンズクラブにより、町野町の仮設住宅でリフレッシュプログラム(クッキングや歌声広場など)が実施されました。
2. 毎年恒例のウクライナ YMCA クリスマス交流として、東京 YMCA キッズガーデンとインターナショナルスクールの子どもたちがウクライナに手作りのカードやお菓子を贈り、ウクライナ YMCA の子どもたちからもカードやお菓子が届きました。またウクライナ YMCA の Viktor Serbulov 総主事より、東京 YMCA ウクライナ支援募金を用いて、ウクライナ各地で 9 つの夏期キャンプを実施し、戦時下の子どもたち計 530 人が参加したとの報告がありました。なおウクライナ YMCA の冬期キャンプのために、東京 YMCA から 5,000 ドルを追加で送金することとしました。
3. 「第 15 回フードパントリー」として、12 月 14 日から東陽町センターと江東センターではひとり親家庭と生活にお困りのご家庭 21 家庭に、食材などを無料配布しました。実施にあたっては、多くの会員や地域の方、企業、団体からご寄付をいただきました。次回は 3 月中旬に実施予定です。
4. 今後の主な行事予定
 - ・「第 900 回記念早天祈祷会」2 月 3 日
説教：古賀博牧師(日本基督教団早稲田教会)
会場：山手センター(祈祷会及び懇談会)
 - ・「YMCA ピンクシャツデー 2025」
(いじめ反対運動) 2 月 26 日
 - ・「国際協力一斉街頭募金」3 月 22 日 新宿駅周辺
 - ・「総主事就退任式」3 月 29 日
会場：日本基督教団霊南坂教会
司式：古賀博牧師(評議員会会長/日本基督教団早稲田教会)
奏楽・演奏：飯靖子氏(理事/日本基督教団霊南坂教会オルガニスト)
 - ・「第 33 回チャリティーゴルフ大会」4 月 10 日
PGM 総成ゴルフクラブ
5. 深 悼 謹んで哀悼の意を表します
小林道彦氏(東京 YMCA 名誉主事・元総主事)
1 月 19 日 召天 享年 95

編集後記 2 月に入りました。2 月 3 日は立春。紅梅も咲き、春を感じる頃となりました。昨年末と今年 1 月は「BF 代表」との関りが多く、BF 代表をより身近に感じ、BF 等各種献金の使われ方などを理解する機会ともなりました。(i.i)